

とうぞう 議会だより



コロナに負けない!

2020年
(令和2年)

第136号

8月1日 発行

■新型コロナ対策 他

ページ

2~4

■議案審議の結果一覧

4

■「町政を問う」一般質問

5~9

■議会解体新書5

10~11

「室相談員」を配置、夏休み短縮に伴う給食実施)



学校再開後に出された「にこにこ給食」

予算(第2号) 円 全会一致で可決

※千円以下の単位は切り捨て

一般会計補正予算(第2号) 関連の主な事業

全小中学校に「心の教室相談員」 を配置(新型コロナウイルス対策)

3月からの臨時休校を終えた学校再開時に、感染・学習・友達関係への不安など悩みを持った児童が気軽に相談できる相手を配置。週3日、1日4時間。相談員は、町と提携している愛知教育大・藤田医科大学の学生を予定。(中学校には配置済み)

237万円

夏休み短縮に伴う給食実施 (新型コロナウイルス対策)

臨時休校による夏休みの短縮に伴い7月20日から8月7日まで新たに13日間、給食を実施。4月からの定額制導入により、新たな保護者負担はなし。

2069万円

デマンド型交通の実証実験

75歳以上の高齢者、障がい者を対象に、御岳、春木台、北山台地区で10人乗り福祉車両を使い、利用者の自宅と町内の公共施設、医療機関、スーパー、鉄道駅(日進駅、米野木駅、赤池駅)などへの利用を想定。1回100円(赤池駅のみ200円)。11月開始予定(新型コロナウイルスの収束状況による)。

1095万円

主な質疑

問 最近までデマンド型交通は難しいと説明

1119万円

ららぽーとで シティプロモーション

ららぽーと愛知東郷(9月開業予定)に東郷町をPRする施設を借り、人員を配置。

後付けのブレーキ・アクセル 踏み間違え防止装置への補助

今年度中に65歳以上になる人を対象に後付けのブレーキ・アクセル踏み間違え防止装置の設置費用を補助。8万円の装置の場合、自己負担は8000円に。今年4月1日以降に設置した場合も対象。

480万円

耐震化促進事業

盛土した大規模造成地の地滑りの可能性を調査。

853万円

主な質疑

問 調査後の対応は。
答 適切な情報を提供し、地権者が対応できるようにする。

賛成

討論

小中学校給食の一部無償化・小学校への心の教室相談員配置・デマンド交通実証実験・高齢者安全運転支援装置設置補助等町民の福祉増進施策を評価する。コロナ禍で困難を抱える町民

新型コロナ対策 (小学校6校に「心の教 デマンド型交通実証実験など

一般会計補正 歳入・歳出5856万

の皆様への更なる支援策を要請し賛成。

(中野まさひろ 議員)

新型コロナ対策で使う財政調整基金は2307万円で、補正予算(第1号)も合わせ1億7789万円に。多くが国の第1次補正予算分の地方創生臨時交付金約1億1000万円で補われる。第2次補正予算分もあり、水道料金の減免など更に積極的な施策を求める。

(門原武志 議員)

その他の事業

新型コロナに傷病手当

東郷町国民健康保険条例の一部を改正する条例

東郷町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 200万円

(いずれも全会一致で可決)

新型コロナウイルスに感染したか感染が疑われる症状で仕事を休んだ被用者(給与所得者)を対象に、傷病手当を支給する。手当は全額、県からの交付金。

討論

東郷町国民健康保険条例の一部改正について

賛成

新型コロナウイルスに感染したか、その疑いで休業した給与所得者を対象に、新たに傷病手当を支給する画期的な条例改正。今後は、他の病気やケガも対象に傷病手当を支給し、

事業者本人も対象にするよう求める。

(門原武志 議員)

町道路線の認定 (全会一致で可決)

9月開業予定のらぽーと愛知東郷に隣接して整備するバスターミナルの車道部分を町道認定するなど、4路線を町道認定する。

主な質疑

問 バスターミナルの車道

はまだ完成していないのに、道路認定できるのか。

答 計画があれば状態に係なく道路認定できる。



バスターミナルの入り口付近
(6月24日)

町長等の給料引き下げ (300万円)

町長等の給料の特例に関する条例の制定、一般会計補正予算(第3号)関係(いずれも賛成多数で可決)

町長等の給料の引き下げ(令和2年7月分から3年3月分まで)の影響額

	給料月額	給料の引き下げ割合	令和2年7月から3年3月分まで9カ月間の給料の引き下げ額
町長	88万1000円	30%	237万8700円
副町長	71万9000円	5%	32万3550円
教育長	66万4000円	5%	29万8800円
引き下げ額の合計			300万1050円

この他に3人分の共済費12万6000円が削減される。

7月から来年3月までの町長・副町長・教育長の給料を引き下げ。削減する比率は町長が30%、副町長と教育長が5%ずつ。町長は「新型コロナウイルス感染症による町民への影響の大きさを勘案し給料を下げ」と説明したが、給料と共済費の合計312万6000円の削減の用途は未定。

主な質疑

問 引き下げ割合の根拠は。

答 職員の給料との兼ね合いで決めた。

討論

町長等の給料の特例に関する条例の制定について

反対

選ばれた町長に執行権が、議員には議決権が与えられ二元代表制のもと地方自治が治められている。片方が削減すれば「議員は何をしているのか」になる。給与・報酬も把握せず削減のパフォーマンスに踊る町にはたくない。

(加藤宏明 議員)

目的も根拠も明確でない目先の演出には賛同できない。日夜コロナ対応にあたっていただいている町長、副町長、教育長には受け取るべき給料を受けていただいて、財政運営、施策の見直しに腰を据えて注力いただきたい。

(石橋直季 議員)

コロナ禍で業務量・時間の増大に反し給与削減するのは単にパフォーマンス。本業でしっかり結果を出し、一刻も早くこのコロナ禍から本町が立ち直ることこそが

最も重要。感染対策や経済復興の具体的な成果を示すべき。

(山下茂 議員)

賛成

町特別職報酬等審議会の答申を尊重する。町長が自分の給料を減らすという政治的判断をしたことを尊重する。

(門原武志 議員)

前町長の30%カットを思い出す。トップが責任を取るの当たり前であり50%でも70%でも町長が決めればよい。9月議会には期末手当全額カットの提出を期待する。

(山田達郎 議員)

討論

東郷町一般会計補正予算(第3号)について

賛成

町長・副町長・教育長の給料の減額分300万円で行う新型コロナ対策事業が決まっている、つまりない予算だが、町特別職報酬等審議会に諮る手続きをしたため、対策事業を盛り込めなかったという事情は理解する。

(門原武志 議員)

6月定例会議案審議の結果一覧

公…公明党 立…立憲民主党 共…日本共産党東郷町議員団	会派	新東会				公	立	共	無	無	無	無	無	無	無	無	無
議案名 議長 水川 淳は採決に加わらない ○…賛成 ×…反対 討…討論を有した議案と議員	審議結果	石橋直季	加藤達雄	加藤宏明	近藤鑑治	高木佳子	國府田さとし	門原武志	比嘉浩二	中野まさひろ	山下茂	熊田彰夫	山田達郎	水川 淳	加藤啓二	若園ひでこ	菱川和英
農業委員会の委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
農業委員会の委員の任命について ※議案35号から44号まで10議案	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
東郷町税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
東郷町使用料及び手数料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
東郷町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
東郷町国民健康保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
東郷町介護保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
東郷町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
尾張市町交通災害共済組合の解散及び同組合の財産処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
尾張市町交通災害共済組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
町道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
町道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
令和2年度東郷町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
令和2年度東郷町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
町長等の給料の特例に関する条例の制定について ※定例会最終日に上程	可決	× 討	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○	○	○
令和2年度東郷町一般会計補正予算(第3号) ※定例会最終日に上程	可決	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○	○	○



6月議会では、新型コロナウイルス感染症関連の質問を中心に8名が登壇しました。



Q：小中学生1人1台のタブレット端末の整備は

A：今年度内に整備を終えたいと考えている

中野 まさひろ 議員

【問】本町の保育料等徴収免除は、一月か半月

保育園登園自粛による
保育料等徴収免除

【問】飲食店への支援策のひとつとして、宅配事業の新設が必要では。

【経済環境部長】飲食店

が、持ち帰り・宅配等

の新しい生活様式に対

応できるため、課題お

よび支援策を商工会と

連携し研究している。

飲食店の支援策

【教育部長】感染症対策や子ども達の健やかな学びのため、教員の加配等、国・県の通知に従い適切に対応する。

【問】新型コロナ感染防止、非常時の遠隔授業準備や学習保障のために、教員や補助職員の人員確保が急務では。

単位でなければ対象にならない。国は短期間の登園自粛に感染防止効果を認め、一日単位での日割の保育料徴収免除を制度化した。本町の制度は、常勤で働く方には利用しやすい。日割での保育料等徴収免除を実施すべきでは。

【町長】すべての方に100

点満点ではなく、ご不

便かもしれないがご理

解いただきたい。



宅配事業の新設で町内の飲食店を応援しよう！

Q：小中学生へのマスクの配布の考えは

A：学校休業による外出自粛で対象としなかった

若園 ひでこ 議員



【問】当初、役場で職員は備蓄されていたマスクを使用していた。今後、必要なマスクは確保されているのか。

【総務部長】現時点では購入が容易になりつつある。必要に応じて備蓄に努めていく。

【問】備蓄には計画が必要ではないか。

【総務部長】入手困難であったことを考慮して、ある程度の備蓄が必要と考えている。町民のみなさんにも、マスクの備蓄を呼びかけたい。

コロナの影響による町民の雇用について

【問】相談はあるのか。

【経済環境部長】事業継続の融資制度の相談が多い。雇用については、本町管轄のハローワー

ク名古屋東において、コロナ感染症拡大の前後に大きな変動はないと聞いている。

【問】雇用の支援をどのように考えるか。

【経済環境部長】状況に応じて支給・給付の利用の検討をしていただきたい。

【問】支給・給付ではなく、仕事を得られることが今後の支援に必要。町としての雇用をどのように考えるか。

【企画部長】町のホームページで募集状況を示し努めている。



新型コロナウイルス予防

Q：新型コロナで少人数学級を推進する考えは

A：できる限りのことをしたい

門原 武志 議員



【問】学校教室での感染防止について伺う。

【教育部長】1m程度でできる限り距離を取り、マスク着用と手洗い、換気を十分に行う。国が示す身体的距離（2m）を確保するには1教室に入れる児童・生徒数は8～10人程度。

【問】少人数学級・授業を進める考えは。

【教育部長】非常勤職員による少人数指導をしてきたが、今後でもできる限りのことをしたい。

図書館で感染防止

【問】資料の消毒機器を導入する考えは。

【教育部長】その考えはない。図書の返却後、ウイルスが消えるとされる72時間保管した後、次の利用者に貸すことを考えている。

臨時休校中の昼食

【問】臨時休校中も就学援助利用者に昼食の支援をする考えは。

【教育部長】就学援助は授業期間中の制度だが、必要なのか研究したい。

水道料金の減免

【問】水道料金の減免を。

【経済環境部長】他の方法も含め生活・経済支援策を研究中。



利用人数と時間を制限して再開した図書館

Q: キャッシュレス(CL)決済拡大の目的は

A: 行政サービスICT化の一端として展開する

山下 茂 議員



【問】全国29モニター自治体の一つに選定されたが、具体的推進策は。

【企画部長】CL対応窓口の拡充、CL決済の「税・料」への展開、新たなCL決済導入、オンライン申請との連携によるワンストップ化などの展開を目指す。

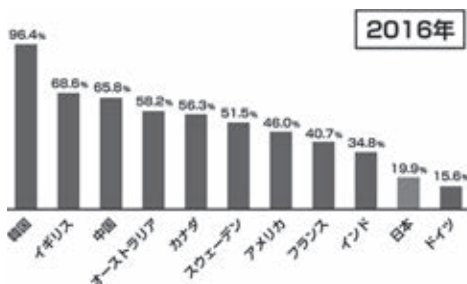
【問】メリットは何か。

【企画部長】町民の方には利便性向上や、窓口対応時間の短縮、更に釣銭授受がなくなり感染リスク低減にも寄与。町としても窓口事務の効率化が期待できる。

GIGAスクール構想
端末整備支援について

【問】障がいのある子どもや、家庭環境により生じやすいデジタル格差をどう捉えているか。

【教育部長】GIGA



世界のキャッシュレス (CL) 決済比率

スクール構想推進に必要であり、アンケートを実施し、結果を踏まえて今後活用できる制度は最大限活用する。

【問】10年・20年後の人口減少を見据えての学校再編や、小中一貫校設立の可能性は。

【教育部長】20年先までの児童生徒の数は、現在と大きく変わることがないためその必要性は極めて低いと考える。

Q: 新型コロナウイルス感染症による影響は

A: 中止・延期を視野に入れ検討中である

近藤 鎭治 議員



【問】町制50周年事業や主な事業はどのようなものか。

【企画部長】記念式典は実施の方法を工夫してできないか検討中。メモリアルイベント・町民参加で記録に挑戦は、中止・延期を視野に検討中。沢山の方が集まる事業は、事前準備に時間がかかり当初企画での実施は難しい。

【教育部長】町民納涼まつり・町民レガッタは、3密の回避が困難なため中止と決めた。

農業の担い手

【問】担い手不足解消の取り組みは。

【経済環境部長】県内の農業系高校の就農を目指す卒業生は、農業大学校に進学する割合が高く、大学校への働きかけや新規就農相談



再開を待つ雑草が生い茂る休耕地

センターと連携を深めていく。また、地元農産物のふるさと納税返礼品の活用や、新規就農者スタートアップ支援のために、地元農産物を給食で受け入れるなどの取組みを進め、農業者の定着を図っていく。

※その他に東郷中学校施設長寿命化計画の進捗状況と整備遅れに対し、今後の対応策について質問を行った。

Q：防災ラジオの普及についての考えは

A：普及について啓発が必要と思われる



高木 佳子 議員

【問】現在の災害時の伝達方法は。

【総務部長】ホームページ、J・A・L・E・R・T、防災行政無線、ツイッター、地域安心メールがある。

【問】地域安心メールの登録数は。

【総務部長】5月31日現在944名。

【問】地域安心メールを多くの方に登録していただくための工夫は。

【総務部長】何らかの形で考えながら啓発していきたい。

【問】災害時の迅速な対応として、東郷町地域防災計画に被災者台帳の作成とあるが、どのように活用していくか。

【総務部長】災害が発生した場合、総合的かつ効率的に被災者を支援するために、関係部

署間で共有し有効に活用する。

【問】被災者支援システムを現在までに調査、また導入を検討されたことはあるか。

【総務部長】「愛知県市町村防災システム」を導入している。「被災者支援システム」とは重複する部分があるため、導入の予定はない。



災害時の情報収集に役立つ防災ラジオ

Q：コロナの影響で納税優遇など町民の命を最優先に

A：しっかりと対応していく



山田 達郎 議員

【問】企業誘致の進捗状況はいかがか。

【経済環境部長】物流関係で7社、製造業5社の12社。

【問】町債が4億円も増えているが。

【総務部長】町長マニフェストなど借入れをしており町の発展のために借入れをしている。

【問】財政調整基金も4億円減っているがいかがか。

【総務部長】町民の暮らしを守るために活用している。

小中学校のタブレット配布、GIGAスクリーン構想

【問】国は10月から4年間かけて全生徒にタブレット端末の配布を決定したが、新型コロナ

の影響から、4年計画を2年での配布と変更した。半田市が7月導入だそうだが、本町への導入時期はいつ頃か。なお、分り次第情報発信をしていただきたい。

【教育部長】本年度中の導入を進めている。



GIGA スクール構想タブレット・PC 充電保管庫

Q：初診医療費無料化はやれないということか

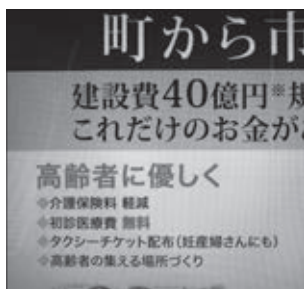
A：課題はあるが、今後、研究していくつもり

石橋 直季 議員



【問】町長公約の初診医療費無料化に「代えて」75歳以上高齢者へのマスク配布事業を行うと説明があった。しかし、後に委員会で質疑が重なる一転、初診医療費無料化は今後も研究するとされた。「やれないけどやろうとはする」では意味不明。どのような検討がなされてきたか。

【福祉部長】検討を進める中で実施に向けた課題がいくつか明らかになり、昨年12月議会では「レセプト提供を受けることが難しい状況であり、別な方法も検討中である」と答弁した。代替的な手法も模索する中、新型コロナウイルス感染症拡大に直面。大きな環境変化をふまえて対応を見直した。



町長の公約である 初診医療費 無料

【企画部長】意見として頂戴する。

〈 請願書趣旨 〉

特定団体関係者に偏った体制になり公平性が失われ、われわれ町民の不利益になることが懸念され、容認できない。町民の会社を私物化する人事では、との疑念もまた払拭できない。全町民の利益に資する公平性ある役員人事になるよう、新取締役4名の選任撤回を願う。議会においても、本要望実現に尽力願う。

2019年 7月24日 株主（町長）が新たに4名の取締役を選任 取締役は合計8名に

12月23日 定例会において「請願書」を審査 継続審査となる

2020年 2月 5日 臨時会において「請願書」が採択される

2月 7日 請願書採択の後、株主（町長）は記者会見を開催
新取締役を解任しない旨の記者会見を行う

2月14日 町長から議会へ記者会見の内容説明

議員から、「なぜ議会への説明もなく記者会見を行ったのか」

「新聞記事が載れば町民に理解されるという認識か」などの意見がでる

～ 6月22日 新たな説明 ～

議会側からの要望により、6月定例会閉会後改めて、請願採択後の状況について説明及び質疑がなされました。主な内容は、以下になります。

- ・新取締役の解任は、会社法における正当な事由に該当しない限り、行わない。
- ・5月に取締役会が開催され、新たな社長が任命された。
- ・議会へは今後、施設サービス(株)の状況について情報提供を行っていく。
- ・町民の方へ、施設サービス(株)の状況について情報を発信していく。
(広報とうごうに掲載予定。)

東郷町施設サービス株式会社(TIS)
「新取締役選任の撤回を求める請願書」

採択から、その後

休新書 5



『議会活性化特別委員会』って何？

議長・活性化委員長を除く、14名の委員が2つの小委員会に分かれ、それぞれの小委員会に付議[※]された案件を調査・研究しています。

※付議：会議にかけること

開かれた議会小委員会〈7名〉

委員長：門原武志
副委員長：中野まさひろ

議会向上小委員会〈7名〉

委員長：近藤鎭治
副委員長：山下 茂

議会の活性化についての調査を行うために設置され(平成20年第1回定例会)開かれた議会の改革に向け取り組んで参りました。

主な実績

- ・議員定数の削減
- ・議会基本条例の制定施行
- ・広報広聴委員会の常任委員会化

「開かれた議会小委員会」の活動内容

傍聴規則の改正

傍聴手続きと会議の円滑な運営のための注意を規定した「傍聴規則」。前身は昭和36年制定「傍聴人取締規則」。当時のままの条文も多く、なぜこんな文言があるのと思う条文もありました。そこで、第一弾として「個人情報保護」「古い文言の整理」「撮影及び録音の禁止規定の明確化」を目的に3点の改正が決まりました。

東郷町議会傍聴規則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方自治法第130条第3項の規定により、議会の傍聴に関し必要な事項を定めるものとする。

(傍聴人の手続)

第2条 議会の議事を傍聴しようとする者は、自己の住所及び氏名を傍聴人受付簿に記入しなければならない。

(傍聴人の制限)

第3条 傍聴人の定員は、次のとおりとする。

(1) 固定席 32人 (2) 車いす席 4人

2 傍聴人が前項の定員に達したときは、議長は、以後の傍聴人の傍聴を拒絶することができる。

(傍聴席に入ることができない者)

第4条 次の各号のいずれかに該当する者は、傍聴席に入ることができない。

(1) 酒気を帯びていると認められる者

(2) 銃器その他人に危害を加えるおそれのあるものを携帯する者

(3) 旗、のぼり、プラカードその他氣勢を示すおそれのあるものを所持する者

(4) 前各号に定めるもののほか、会議を妨害し、又は人に迷惑を及ぼすと認められるものを持っている者

(議場入場の禁止)

第5条 傍聴人は、議場に入ることとはできない。

(傍聴人の守るべき事項)

第6条 傍聴人は、次の事項を守らなければならない。

(1) 飲食し、又は喫煙しないこと。(2) 私語し、又は談笑しないこと。

(3) 議場の言論及び行為に対し、言語、拍手等をもって批評を加え、又は可否を表明しないこと。

(4) 前各号に規定するほか、議場の秩序を乱し、又は議事を妨害するような行為をしないこと。

(写真、映画等の撮影及び録音等の禁止)

第7条 傍聴人は、傍聴席において写真、映画等を撮影し、又は録音等をしてはならない。ただし、特に議長の許可を得た者は、この限りでない。

(係員の指示)

第8条 傍聴人は、すべて係員の指示に従わなければならない。

(違反に対する措置)

第9条 議長は、傍聴人がこの規則に違反するときは、これを制止し、その命令に従わないときは、退場させることができる。

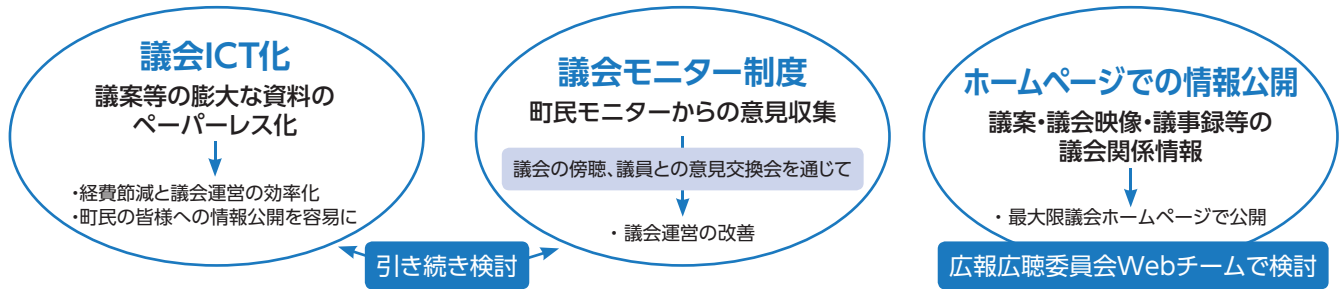
3点の改正

- ・傍聴受付票の記入は氏名のみ
- ・傍聴券の交付を検討

「銃器」という古い文言を削除

「会議中においては」を加え、撮影・録音の禁止目的を明確化

議会解



「議会向上小委員会」の活動内容

準 予算・決算特別委員会の 常任委員会化

予算・決算特別委員会を補正予算への逐次審査も含め、通年で審査を行える体制作りを目指す。

準 議員定数・議員 報酬の見直し

他市町の現況や報酬審議会での検討内容を基に、町民の皆様にも納得していただける内容に見直す。

準 政務活動費の 柔軟な運用

実は、政務活動費は使途の制限も多く、その報告も煩雑であり、今後監査を行う立場も考慮し見直す。

提言を 受けて

進

災害時の議会の役割について

東郷町BCP(業務継続計画)、及び他市町(栗東市、大津市ほか)での先進事例を参考に、現在本町議会としてのBCP策定に向けて協議中で、先ず初めに**災害対応指針**、及び**災害時の行動規範**を作成中である。

なお、この度のコロナ禍も広義の災害と捉え、喫緊の課題との判断から、「新型コロナウイルス感染症拡大予防に向けた議会としての対応について」の提言を、去る3月27日に小委員会からの提言として提出した。

業務継続計画の立案

いつ来ても不思議でない大災害に備えて、災害発生時にどのように町の対策本部と連携するか?議会としてどう対応すべきか?議員はどう動くべきか?等をまとめたものを早期に策定し明文化することが強く求められています。

感染症拡大への対応

従来の地震・風水等による災害に加え、新たに感染症への対応も盛り込み、策定中です。

準 準備検討中

進 鋭意進行中

コロナ禍における議会の対応

議会運営・議員活動等に関して申し合わせしました。

議会運営

- 1.感染予防策：消毒液の設置、マスク着用、検温、議場内の換気実施
- 2.傍聴者へ：感染予防策を、町ホームページにて周知と注意喚起
- 3.会議の進行：時間短縮など効率的かつ柔軟に対応、また、一般質問中は議員の出入り自由

議員活動

- 1.感染予防策の徹底
- 2.各自、各種行事への参加は原則見合わせ(公式、非公式問わず)
- 3.委員会の開催におけるオンライン会議、文書回覧・メール活用などによる代替開催方法も考慮

こぼれ話

★議会向上小委員会では、非公式ではありませんでしたが、LINEのグループビデオ通話を活用し、約1時間のオンライン会議をコロナ禍中真只中の4月に行いました。意外にも、いつもより闊達で活発な議論を行うことができました。

★コロナ禍の影響を鑑みての予算削減策として、各常任委員会の視察・研修を今年度は見送ることが、全会一致で決まりました。

議長室から

コロナ禍の一つとして…

6月議会も感染防止対策を講じながら、また、職員の現場対応に支障を来さないような運営となりました。

マスコミを通じて、各地の議会が講ずる各種多様な対策を目にすることができ、ある種の個性が垣間見えます。

一方、情報の錯綜もあるようです。一例として、5月30日付中日新聞記事に、「緊急性のある質問を優先させ、質問者は8人に減らした。」と報じられましたが、本町議会では特に質問に関する制約を申し合わせることはなく、あくまで議員個々の判断に委ね、その結果8人の議員が通告し、質問を1日で終えることができました。

普段の定例会では多くの議員が質問を通告するため、今回は「減じた」と感じた向きもあるかと思います。質問は、それぞれの議員が町民からお預かりした重要かつ緊急性のあるものばかりです。その一方で、町民にご理解が得られるとの判断から次回以降の機会に先送りした議員もいたのかもしれませんが。いずれにしても、多様な町民の声に応える対応だったのではないのでしょうか。

今後も生命にかかわる感染症対策には十分な考慮をしながら、議会の機能を低下させることのない運営を議会一丸となって行なってまいります。

議長 水川 淳



令和2年9月定例会の日程

8月28日(金)	開会日(議案上程)
9月 3日(木)	一般質問
4日(金)	一般質問
8日(火)	一般質問・議案質疑
10日(木)	決算特別委員会
14日(月)	決算特別委員会
16日(水)	総務経済委員会
17日(木)	文教民生委員会
25日(金)	閉会(討論・採決)

※新型コロナウイルス感染症の状況で日程を変更する場合があります。

ネットで議会

QRコードリーダーで読み取ってご覧ください



議会ウェブページ



東郷町イメージキャラクター
トッピー



録画映像配信

表紙の写真

「コロナとたたかう人たち」



年が改まるとほぼ同時期に騒動がはじまった新型コロナウイルス禍。学校休校による子どもたちの苦しみがあり、外出自粛と慣れないテレワークに戸惑う大人たちの苦しみがあり、そして、この苦しみに寄り添う役割を担う人たちがいました。

医療関係者などに代表されるように、町のあらゆる場面で苦しみ、戦ってきた方々がたくさんお見えのことと思いますが、素材収集の都合から、「コロナとたたかう熱い人々」として、学校、保育園・児童館などの関係者を取り上げてみました。

明けない夜はありません。みんなで頑張りましょう！

広報広聴委員会

委員長	委員		
國府田 さとみ	高木 佳子	中野 まさひろ	
	山下 茂	加藤 達雄	
副委員長	水川 淳	門原 武志	
石橋 直季			

「135号記載：議案審議結果一覧における訂正」

先に発行しました議会だより135号(2020年6月1日発行)において、P5「議案審議の結果一覧」に記載の間違ひがありました。ここに改めて訂正をし、お詫びさせていただきます。

訂正内容

2月臨時会【請願】東郷町施設サービス(株)新取締役の撤回を求める請願書への可否について……誤:加藤啓二議員○(賛成)→正:×(反対)

議会だよりは再生紙を使用しています。